

学校教育目標	ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校							
	知 問題を発見し、解決に向かってねばり強く追究し続ける力をつけます							
	徳 相手を思いやり、よさを見つけながら、力を合わせて活動する力をつけます							
	体 自他の命を大切にし、望ましい生活習慣を身につけ、自ら進んで健康づくりに取り組む姿勢を育てます							
	公 学んだことを自分の生活に生かし、人のために役立てようと自ら実践する態度を育てます							
学校概要	創立 46 周年	校長	松永 淳子	副校長	大久保 作織	2 学期制	一般学級: 14	個別支援学級: 3
	児童生徒数: 444 人		主な関係校: 岩崎中学校 岩崎小学校					

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分づくり 言語能力 共感力	岩崎中 岩崎小 桜台小 保土ヶ谷小	児童・生徒自らが課題を見つけ、解決しようとする 主體的な活動の支援 授業参観及び交流会 小中一貫カリキュラムの推進に向け情報交換をする 教員の交流

中期取組目標	子どもの可能性を楽しみに、子ども・保護者・地域・学校が協力して、子どもの可能性を伸ばします ・自ら考え発信できる子どもをめざして、学習活動や行事等の取組を工夫します ・素早い初期対応、情報共有により、子どもが安心できる環境整備を進めます ・保護者・地域との連携を進め、学習環境及び「まち」にかかわる環境整備を進めます ・職員が働きやすく効果の上がる職場づくりに努めます
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	①基礎基本の確認を丁寧に進める。②一昨年度の学状をもとに、基礎基本の定着を図るために、学習時間の割り振りを工夫し、児童のできるという気持ちを引き出す工夫をする。③校内での研究会を中心に授業展開や教材理解を充実させていく。④児童の発表の機会を大切にし表現活動を設定する。
担当 研究部	
豊かな心	①異学年交流を大切にし、コロナ禍に対応できる活動を推進する。②児童一人ひとりが発信する場面を大切にする。そのために安心して語り合えたり、話し合ったりできる場面を授業中やその他様々な場面で実施し友だちとの関係性づくりを進める。
担当 児童支援	
健やかな体	①運動場や体育館を活用し、体を動かす時間や場所を設定し、健康的に体を動かせる場面を工夫する。②学校保健委員会や委員会活動を通して、児童自ら考えて継続的に体力づくりや、健康について考える場を作る。
担当 体育・特活	
特別支援教育	①児童の困り感に寄り添い保護者との連携をさらに進め、スピード感をもって取組んでいく。②特別な配慮が必要な児童には個別の教育指導計画や支援計画を作成して情報共有や連携をさらに進め対応していく。そのために校内講師による研修や講師を招いての児童支援研修などを積極的に開催する。
担当 児童支援専任	
地域連携	①支援委員会を中心にボランティア組織をさらに充実させる。教員間での情報連携を充実し、ボランティアの活躍の場面を活用できるようにする。
担当 教務	
担当	
担当	
担当	
いじめへの対応	①日常の観察、児童・保護者からの情報やアンケート等により児童の実態をできるだけ正確につかむ。②いじめが発見された時はいじめ防止対策委員会をすみやかに開いて情報を共有し、組織的な対応を続ける。③職員による研修や講師を招いて研修を行い、共通な理解を深めていく。
担当 児童支援	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①これまで進めてきた働き方改革を見直し、効果を確認する。②メンター研を軸に、職員同士の学び合いや話し合う仕組みを大切にしていく。指導案作成や授業研究を通して指導の基礎を学びながら教師としての資質を高めていく。話し合いの場を大切にしなが考えを共有していく。
担当 教務・メンター	